

南砺市福野西部公民館

◆事業の目的

地域の子供たちが、伝統行事や自然とのふれあい、地域の大人達とのふれあいを深めるとともに、楽しい思い出づくりと心豊かな成長を期待する。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月26日(土)	ミニ行燈づくり	布袋地内	55名
6月9日(土)	親子で花壇に花を植えました	布袋地内	35名
10月21日(日)	さつまいも掘り	布袋地内	90名
12月24日(祝)	門松、ミニ門松、しめ縄、餅つき	西部公民館、体育館	70名

◆事業の様子

☆ ミニ行燈づくり

高野幸雄宅納屋にて、親子でミニ行燈を作りました。子ども達は自分の描きたい絵を持参し、真剣に写し、ロービキと色付けをしました。最後に木枠に糊づけして午前中で完成しました。



☆ 親子で花壇に花を植えました

旧保育園の地内で、親子で花壇に花を植えました。さつまいも苗を植える予定でしたが、子ども達との日程の都合がつかず、花壇の花植えに変更しました。兄弟で参加の弟の園児は花を植えたくて、兄と喧嘩もあり大変にぎやかな花壇づくりでした。



☆ さつまいも掘り体験

親子連れの子供たちが長靴、軍手、シャベル持参で続々とさつまいも畑に集まり、館長の説明を聞いたあと、畑へ飛び込み、泥んこになって大きな芋に大きな声を上げ、喜んで掘りました。

「たくさんとれたよ」「掘るの大変だったね」など、親子での会話も弾み、収穫の喜びを味わっている姿が見られました。



☆ 門松、ミニ門松、しめ縄、餅つき体験

朝から西部地区恒例の門松、しめ縄、ミニ門松作り、餅つき、カラーリング体験を公民館と体育館で実施しました。子ども達40人は公民館の2階で館長の説明で手際よく作り、完成した子は餅つき体験もしました。体育館では今回初めて、カラーリング体験もし、大人の方々は子ども達が余りにも上手なので感心されていました。

最後に全員で3色餅と豚汁を美味しく頂いて、今年を締めくくりました。



◆事業の成果と課題

地域の大人達と父兄の皆さんが、子ども達とのふれ合いが出来、顔も分かり合い、大きくなってからの故郷の思い出になったことと思います。保育園閉園により(父母の会消滅)園児の参加が少なく淋しいことが課題です。

